



2023年度 弘前学院大学 看護学部 第18回リカレント教育

実践を支援するリカレント教育

—量的研究に詳しくなろう 地域包括ケアについて理解を深めよう—

日時	プログラム I	2023年12月2日(土) 13:00~15:20
	プログラム II	2024年1月27日(土) 13:00~16:20

受講方法 Zoomによるオンライン

対象 看護職(青森県内の医療機関・行政機関・訪問看護ステーション等に勤務されている皆様)

参加料 無料

申込期日 11月24日(金) 12時まで

申込方法 下記のQRコード申し込み受付フォームにて申してください。

注意事項

- ・連絡先は、必ず連絡が取れるところをご記入ください(研修会資料およびZoomのURLをお送りする際に使用いたします)
- ・QRコードでの申し込みが上手くいかない場合
下記のURL、または、メールアドレスでも受け付けます。
 - ① 参加希望日(プログラムI・II両方、Iのみ、IIのみ)
 - ② 所属施設
 - ③ 名前
 - ④ 電話番号(メールでのご連絡ができない時の連絡用です)
 - ⑤ メールアドレス(連絡先とzoom用が異なる場合は、どちらも記載する)。記載間違いがないようご確認ください
- ・いただきました連絡先等については本研修についてのみ使用いたします。

問い合わせ先(弘前学院大学 看護学部 齊藤)
〒036-8231 弘前市稔町20-7
電話 0172-31-7100 FAX 0172-31-7101
E-mail kangojimu@hirogaku-u.ac.jp



QRコードのURL

<https://forms.office.com/r/vB7S0MTmm4>

テーマ 実践を支援するリカレント教育

量的研究に詳しくなろう 地域包括ケアについて理解を深めよう

プログラム I 2023年12月2日（土） 13：00～15：20

1. 『量的研究の特徴と活用』

13：05～14：05

阿部 智美（弘前学院大学看護学部 准教授）

【講義概要】

看護研究、量的研究の概要について、お話しさせていただきます。研究の概要になりますので、病棟などで量的研究を始める際に、役立つあるいはヒントになるような内容を入れながら、お話をさせていただければと思います。オンラインで参加できますので、ご自宅などで、リラックスしながら、楽な気持ちでご参加いただければ幸いです。

【講義内容】

1. 看護研究について
 - 研究とは
 - 研究テーマの設定
 - 研究デザイン
2. 量的研究について
 - 量的研究の種類
 - 量的研究での留意点

2. 『現場で役立つ量的研究の進め方ー失敗しないアンケートの作り方ー』

14：15～15：20

館山 光子（弘前学院大学看護学部 教授）

【講義概要】

臨床でもよく使われるアンケート調査ですが、「苦労したわりに、結果がうまく出なかった」「結局、何が分かったかわからない」と言う失敗談も多く聞きます。少しの工夫で「聞きたい情報」が得られ、分析もしやすくなります。せっかく調査をするのであれば、業務改善や日々の看護に役立てられる結果をしっかりと出しませんか？

量的研究の発表や抄録作成の際に守ってほしいルールや注意点についてもお伝えしたいと思います。

【講義内容】

- ・体験してみよう！答えやすいアンケート、答えにくいアンケート（事前課題）
- ・アンケート調査の利点・欠点
- ・アンケート作成前の確認
- ・質問文・選択肢の工夫
- ・アンケート結果を発表する際の注意

プログラムⅡ 2024年1月27日（土） 13：00～16：20

1. 『看護研究におけるエクセルの活用術－初心者編－』（昨年好評だった講義です） 13：05～14：35

田中 真実（弘前学院大学看護学部 准教授）

【講義概要】Excelで作業できるパソコンがあるとよいです。

Excelを使って事例を交えながら、表、グラフの作成および統計学を学習することが出来ます。「統計学がわかる」技術評論社（著者：向後千春、富永敦子）を参考に、「ポテトの長さの違い」「女子学生にハンバーガーの味に点数をつけてもらった結果」のデータを使用し、統計学入門を学んでもらえるように講義します。

【講義内容】

1. Excelの基本操作

Excelで表を作成し、数式を入れて平均と標準偏差を計算することを学習します。

2. グラフの作成

平均値のグラフを作成し、更に、標準偏差をグラフに入れる学習をします。

3. 統計

作成した表から度数分布、平均値、分散と標準偏差、F検定（等分散の検定）、T検定（対応なし、対応あり）、有意水準（危険率）について学習します。

事前にExcelのデータを配信します。そのデータを使用し、表、グラフの作成及び統計処理を行っていただきます。

2. 『地域包括ケアシステムに求められる地域完結型医療を理解しましょう』

14：45～16：20

中村 順子（NPO法人ホームホスピス秋田理事長）

中村先生プロフィール

2022年～NPO法人ホームホスピス秋田理事長・ホームホスピス秋田訪問看護ステーション管理者（前・秋田大学大学院医学系研究科保健学専攻 教授）

秋田県生まれ。聖路加看護大学卒業後、聖路加国際病院内科病棟で病棟看護を経験し、1985年からは東京都世田谷区で老人保健法下の訪問看護を始める。その後、特別養護老人ホーム、医療機関からの訪問看護を経て日本訪問看護振興財団立訪問看護ステーションで訪問看護師、同ケアプランセンターでケアマネジャーとしての実践を経て、2007年から故郷・秋田で看護教員に。2022年3月に退官。2008年聖路加看護大学大学院博士前期課程、2011年青森県立保健大学大学院博士後期課程修了。

秋田大学医学部保健学科で「訪問看護」を中心に研究を重ねてきた中村順子理事が目指すこれからの看護の中心は「訪問健康管理」だということです。今回は、秋田県全域への展開を目指す中村先生をリモートでお招きしまして、講義をお願いしたいと思っております。ご興味のある方皆さん、ぜひご参加ください。

【講義内容】

- ・地域包括ケアシステムとは何かを復習し、それにおける看護職の役割を再確認する
- ・現在求められている地域完結型医療と病院完結型医療とは何が違うのだろう
- ・地域完結型医療の先にあるQOD（Quality of Death）；尊厳ある死を支えるのは看護職であることを理解し、人の尊厳を守る看取りを支える看護の役割を知ろう
- ・暮らしの場で看取りを支えるホームホスピスの活動を紹介